

平成20年2月20日

北アルプス広域連合
連合長 牛越 徹 殿

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳
住所 〒399-9301
北安曇郡白馬村北城 11020

**新ごみ処理施設建設計画の白紙撤回（一時凍結）への理解と
確認調査の分析結果についての要望書**

去る9月議会で、私ども「白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会（以下、ごみ連協）」が提出した陳情書が継続審議扱いになりました。しかし、その後の住民説明会でも村民の納得や理解が得られず、状況は依然として混迷の一途をたどっています。

このような状況の中で、私どもは11月議会に向けて住民の過半数を超える署名簿を添えて要望書を提出しましたが、再度継続審査扱いになりました。

重ねて、全人口の半数以上の住民が建設計画に反対している事実を重く受け止めていただき、ごみ問題の基本方針の再策定に向け、当ごみ処理施設建設計画を白紙撤回ないしは一時凍結してください。

その後、広域連合は2月1日から現地の確認調査を行ない、信州大学山岳科学研究所にその分析を依頼していると聞き及んでいます。この件では、2月18日付けの『いつ、そして、なぜ飯森は「予定地」になったのか―連合長の不誠実な行為に抗議する―』で、私どもはこの確認調査に対する抗議を行なっています。直ちに虚偽の許可申請を取り下げることが実行できないならば、次の2点を要望しますのでよろしくお取り計らいください。

1. **確認調査の分析が、複数以上の研究者によって行なわれるようにしてください。**
2. **確認調査結果については、分析責任者からの住民向け説明会を行なってください。**

以上